



福島県の復興を支える工学技術に関する 公開シンポジウム

～ロハスの工学を用いた日本大学工学部の取り組み～

参加費
無料

第1回

9/30日
13:30～16:00

【テーマ】

福島県の将来像とロハスの家

場所…ビッグアイ 市民交流プラザ7階大会議室1

世界に向けロハスのデザインを発信する

13:35～14:20

東日本大震災そして原発事故を経験した地域では、復興の加速とともに、将来の健康で持続可能な様々な生活スタイルとは何かを問う声が大きくなっています。今回は一連のシンポジウムの初回として、日本大学工学部が進めてきたロハスの工学について、そのねらいと概要を平易に解説します。

日本大学工学部
機械工学科 教授

かきざき たかお

柿崎 隆夫

情報通信企業にて情報機器やロボット、さらには映像コンテンツ流通サービスなどの研究開発に従事。2010年から現職。現在はサステナブルなシステムに関する研究を進め、今年6月には国連持続可能な開発会議(リオ+20)にて基調講演を行った。日本機械学会、日本ロボット学会、米国機械学会などの会員。



福島県の復興におけるロハスの家の役割

14:35～15:20

日本大学工学部は2008年より「ロハスの家プロジェクト」で家に関連する様々な技術の研究をしています。その一つの「浅部 地中熱冷暖房システム」は、福島県発の再生可能エネルギー技術として期待されています。本講演では、ロハスの家の概要とこれからの深化・発展のシナリオを紹介し、福島県の復興における役割を考察します。

日本大学工学部
機械工学科 准教授

いとう こうすけ

伊藤 耕祐

1986年東北大学卒。日野自動車技術者、東北大学助手、仏リヨン工科大学研究員などを経て2009年より現職。「ロハスの家プロジェクト」に参画し、「福島県浅部地中熱利用技術開発事業」(2011～13年度)を受託すると共に、「福島県地域イノベーション戦略プログラム」(2012～16年度)にも参画している。



意見交換会

15:30～16:00

工学部の2人の専門家により紹介された内容やそれに関連する内容について、参加の皆様が疑問に感じたことや日頃から考えていることなどの質問を自由に受け、参加者と専門家との間で意見の交換を行います。

主催

日本大学工学部
工学研究所

申し込み方法:氏名、住所および連絡先(電話、メールアドレス)を記入の上(自由書式)、メールまたはFAXにて下記申し込み先にご送付ください。
申し込み先:日本大学工学部土木工学科 地震工学研究室 担当:中村 晋
E-mail: hashi@civil.ce.nihon-u.ac.jp FAX:024-956-8858
お越しの際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。